

市民活動状況

市内NPO法人数	31 団体
当センター登録団体数	124 団体
当センター登録会員数	6,577人
9月来館者数	2,218人
9月印刷機利用枚数	20,348枚

ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や大会議室・
 小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日
 〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
 E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL <http://r-shimin.sakura.ne.jp/>

今月のトップニュース

センター長の「目指せ！市民活動日本一」その58

起業（働き方改革への提案）

10年以上前に退職者を主な資源としてstartした市民活動も高齢化が進み後継者不足が悩みのタネである。「市民活動日本一」を目指す龍ヶ崎市市民活動センターで活躍する者は何と60歳後半から70歳が主流となってしまった。

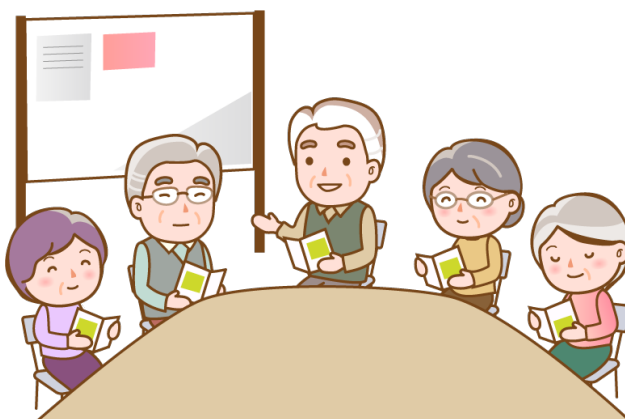
最近では、企業も年金支給開始年齢の引き上げに呼応して、嘱託制度を活用し退職者の再雇用を進めている。退職者の有する専門技能を活用し、パート賃金で生産力を維持するのである。退職者も年金支給開始年齢まで働かないと節約の生活を余儀なくされる。だから、65歳前後になるまで電車で通勤して働く元気なシニアが増えている。一方、数年以上前に退職したシニアすなわち65歳以上の者の多くに働くことが好きで、役割を求める者は少なくない。龍ヶ崎は退職人材の宝庫である。現在はこれが市民活動の機関車である。



生産人口減に伴う龍ヶ崎の財源低下は必然だと思う。新たな納税者が増えないので、市政も議員・職員の定数減が社会の要請になってしまった。市政の生産力が下降するのである。これを補完するために、まちづくりや福祉活動の担い手である65歳以上の元気なシニアの有する「企画力」を市政に活用してはどうか？ 市民活動は多岐にわたっているので実情の把握と活用が難問なのである。

少しだけ、低コストで働くシニア世代を多彩に活用し(ワークシェア)、行政と市民が協力してまちを創る市民協働が周辺のまちでも加速している。これを効率的に進めるには現場の理解に富むマネージャーがタスクを細分化し、雇用者の適性を見極め、弾力的に生産形態を再編成する職務設計と、そのマネジメントが不可欠だと思う。

東京大学柏キャンパスでもそのような試みが随分前から進められているという。



市民活動センターからのお知らせ

「歩く歴史講座」開催します。コースは龍ヶ崎西地区です。11月18日(土)9時～11時半(予定)雨天中止
 集合場所 市役所南側駐車場 問い合わせ、申し込みは市民活動センターまで。電話:0297-63-0030

「バードウォッチング」入門講座を開設します。

12月 3日(日) 9時半～11時 市民活動センター 室内での講座

12月17日(日) 9時～12時 北竜台公園 野鳥観察

問い合わせ、申し込みは龍ヶ崎バードウォッチングクラブ 岸会長まで 電話:0297-66-8238

日本で活躍するフィリピンの若者たちとの懸け橋



市内で働くフィリピンの若者たちが市民活動センターを定期利用している。日本の生活習慣にもようやく馴れ、規則正しく、好青年が多くなったように思う。かれこれ一年になる。午前中は音楽活動、午後はふるさとの映画を楽しんだり、勉強もしている。若者達の元気な姿をフィリピンの家族に送ることを提案した。この写真を市民活動センターの市民活動センターのホームページにブログとしてアップし龍ヶ崎をフィリピンに届けた。Facebookページを通して、先に帰省したフィリピンの世話人君から、ありがとうのコメントがあった。龍ヶ崎で元気にやっているよと返信した。

常磐線沿線交流회가龍ヶ崎市市民活動センターで開催されました

地域の資源を共有するために・・・近隣のセンター長が集まり、交流活動(自慢大会)を開催しました。第1回は龍ヶ崎で立ち上げた。人口40万人の「柏」= 駅前の高層ビルで活動し、都市型の代表といえる。つくばTX、新興都市の「守谷」= 市民大学の事務局としても活動し、これからは企業交流も強化したいとのこと。町立「阿見」= 活動場所が狭いといった。これから活動計画の充実と知名度向上に取り組むという。茨城県南の顔「つくば」=市民大学を擁し、NPOが立ち上げた「楽々大学」もある。交流会にはお忙しい中を割いて、深澤議員、久米原議員、市民協働課櫻井課長補佐の来賓参加をいただいた。龍ヶ崎は行政施策として「市民活動日本一」に取り組み、円卓会議を通して戦略を立案していると自慢した。次回は半年後、場所は「つくば」。今回を機に市民活動は急速に展開する。Borderlessの到来である。



柏市の市民活動に参加



柏 市民活動サポートコーナーが主催する交流サロン「協働まちづくりについて語ろう！」に参加した。千葉県で5番目の人口と登録団体370を擁するパレット柏には市民交流センター、市民活動サポートコーナー、国際交流センター、男女共同参画センター、市民ギャラリーが駅前の高層ビルの3階を占有して活動していた。若者にあふれていた。開催後、懇親会に参加し、皆さんとの情報交換会で龍ヶ崎がこれから取り組むべき課題のヒントも収穫できた。これからも交流を継続する約束をした。廃校を再利用し、インターネットを駆使し、黄色い建物コムハウスの赤ちょうちんを自慢して帰路についた。。

秋のサツマイモ収穫体験&バーベキュー大会

ゆったり館近くの農家民宿「半兵衛」で、あいにくの雨の中で開催。都心にお住まいの近未来住宅の創造に取り組む都市公団OB、海外との提携で龍ヶ崎をテーマに建築設計に取り組む設計事務所、菜種の地あぶら製造・普及に取り組む市原市地域おこし協力隊、これからの進路を模索する一年生の龍ヶ崎地域おこし協力隊、NPO法人バイオライフ塩川代表、市民活動推進委員の松原会長、市民活動センター長がバーベキューを頂きながらの論戦・・・あっという間の2時間でした。



龍ヶ崎短歌会

夜半の湯に浸かりて 独り静寂の世界に おれば鼻が鳴く

アイキヤン

わがことのように 喜ぶ被爆者をこそ 善き哉 I C A N 平和賞ゆく

藤澤 宏至

吉田 綾子